

●吉田橋

関内と関外、現在の馬車道と伊勢佐木町を結ぶ橋で、文久二年（一八六二）に仮橋を本橋とした木橋が架けられた。明治二年、「かねの橋」の名で親しまれた鉄橋となり、明治四四年一〇月には、歩道・車道・電車を備えた鉄筋コンクリート橋が架けられた。

震災当日、派大岡川に架かる橋のうち、末吉・黄金・栄・山吹・権三・日ノ出橋などが、落下や焼失にみまわれたが、幸運にも吉田橋は崩壊しなかった。そのため、多くの住民が吉田橋を渡って横浜公園方面へ避難することができた。橋上で避難を急ぐ人の流れのなか、子どもやお年寄りが圧死する悲劇もあった。

震災後、昭和三年（一九二八）に改修が行われた。現在の吉田橋は、昭和五三年に明治の「かねの橋」を復元したものである。橋上には、「史跡吉田橋関門跡」の碑が立つ。



Celebration of Opening of the New Yoshida Bridge in Yokohama. 景光の式橋開橋田吉濱横

震災前：絵葉書「横浜吉田橋開橋式の光景 Celebration of Opening of the New Yoshida Bridge in Yokohama.」



状態の通道車馬るた見りよ橋田吉

震災：絵葉書「吉田橋より見たる馬車道の惨状」



Bashamichi dori, Yokohama △望ヲ通道車馬リヨ橋田吉（所名濱横大）

復興：絵葉書「（大横浜名所）吉田橋ヨリ馬車道通ヲ望ム Bashamichi dori, Yokohama」